

# イチオシ!

## M OVIE

### 『ビューティフル アイランズ』

気候変動問題によって“揺れる3つの島”を映し出したドキュメンタリー。南太平洋のツバル、イタリアのベネチア、アラスカのシマレフ島。文化も気候も異なるそれぞれの島で、島民たちは代々受け継がれてきた伝統工芸、生活様式、自然を尊びながら穏やかに生活してきた。しかし気候変動の影響で、これらの美しい島々は今世紀中に海に沈んでしまうかもしれない。海南友子監督は、3年にわたり取材を重ね、気候変動による被害を受けつつも、日常を変えられない人々の姿を通し、失われつつある島の「今」を描いている。ナレーションやBGMを一切使わない演出で、島の美しさと消えゆくものの対比をひときわ印象深くしている。

2009年/日本/106分

監督：海南友子

エグゼクティブプロデューサー：是枝裕和

配給：ゴー・シネマ

公開：7月10日(土)より恵比寿ガーデンシネマほか、全国順次ロードショー

URL：www.beautiful-i.tv/

## E VENT

### 生物多様性を名古屋で考えよう!

私たちの生活を支えている生物多様性が今、急速に失われている。その現状と課題を知り、私たちに何ができるのか、考えてみませんか? 今秋、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催される名古屋でさまざまなイベントが行われる。

◆企画展「つながる、つなげる、地球のいのち ~生物多様性と私たちの未来~」  
「生物多様性とは何か」「生態系の仕組みとそのバランスが崩れるリスク」「人間の暮らしとのつながり」などをパネルや模型を用いて分かりやすく解説。生物多様性の保全に取り組むJICAやNGOの活動紹介、ゲームで日本と途上国の生態系を学べるコーナーも。

その他関連イベント(申込方法など詳細は下記ホームページ参照)

●映画上映&講演会 8月21日(土)、9月11日(土)

●連続セミナー「生物多様性の保全と国際協力」

ケニア編 8月22日(日)、パナマ編 9月4日(土)

●夏休みワークショップ「人のつながり、自然のつながり」(NPO法人ソムニード主催) 8月25日(水)、26日(木)

企画展会期：8月4日(水)~11月14日(日)10時~18時(月・祝日休館)

場所：なごや地球ひろば

問：なごや地球ひろば TEL：052-533-0121

URL：www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/

◆ワークショップ「COP10×生物多様性って何?」

演劇の脚本・演出を担当する一方で、国際理解・開発教育にも造詣が深い前田直人氏をコーディネーターに、参加者同士が生物多様性について楽しく学び、考えるワークショップ。

日時：7月19日(月・祝日)13時~17時

会場：名古屋国際センター 第3研修室

参加費：500円(要申込)

問：NPO法人名古屋NGOセンター TEL：052-483-6800

## B OOK

### 『マダガスカルがこわれる』

アフリカの島国マダガスカルは、全世界の動植物の5%が生息し、今も未知の新種がいるという自然の宝庫。しかし、かつて国土の大部分を占めていた森林が、今では10%ほどしか残っていない上、生き物たちはすみかを追われるなど、“楽園”は崩壊しつつある。悲しいことに、主な原因は人間だ。収入源となる薪や炭の原料である森、農地になる森。特に、自然と隣り合わせに生きる貧しい人々が、生活の糧となる木々を切り倒し焼き払っている。本書は、人間の手によって脅かされる森の様子、カメレオンやシファカなどマダガスカル特有の生き物を、環境ジャーナリストである著者が迫力ある写真で紹介。



藤原幸一 著

ポプラ社

1,890円(税込)

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

## B OOK

### 『みんなの自然をみんなで守る20のヒント』

東京電力(株)の「尾瀬の自然保護活動」を10年以上担当してきた著者と著名人とのECO対談がまとめられた一冊。解剖学者の養老孟司さん、アルピニストの野口健さん、お魚ライフ・コーディネーターのさかなクンなど、自然を愛する19人がそれぞれの“自然との付き合い方”を紹介。親子が手をつないで山道を歩き、知らない生き物を発見する楽しみ、都会の便利な環境から離れ自然の中で感じる心地よさなど、実際に自然の中に溶け込んでみないと分からないことや自然と共生する面白さを教えてくれる。



竹内純子 編

山と溪谷社

1,890円(税込)

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ